

# 「見えない音をたしかめよう～音の実験～」ブックリスト

このブックリストは、国際子ども図書館のイベント「科学あそび2013 見えない音をたしかめよう～音の実験（じっけん）～」で行ったブックトークや、配ったリストをもとに、小学生のみなさんが調べものをする時に役立つ本をまとめたものです。

イベントでは、さまざまな音の出るおもちゃを鳴らしたり、プラスチックのコップを使った楽器（がっき）を作ったりしました。

「科学あそび2013」についてくわしく知りたい人は、国際子ども図書館のホームページをご覧ください。

・国際子ども図書館 科学あそび2013「見えない音をたしかめよう～音の実験～」

<https://www.kodomo.go.jp/promote/activity/science/2013/index.html>

<ブックトークでしようかいした知識（ちしき）の本と、しようかいした内容（ないよう）>

タイトル	著者	出版者	出版年
ウサギのかいかたそでてかた	小宮輝之文、大野彰子・弘子絵	岩崎書店	1999
ブックトークでは、ウサギの長い耳の役割（やくわり）についてしようかいしました。			
音のふしぎ百科 1、2	繁下和雄、日本音響学会編著	樹立社	2002
音についてのたくさんの「ふしぎ」が書いてある本です。その中から、「なぜ声が出るのか」「こだまはなぜ返ってくるのか」などをしようかいしました。			
科学者を目指したくなる!おもしろ科学実験&知識ブック 1巻(暮らしのしくみがわかるなるほど!科学実験ブック)	小森栄治監修	教育画劇	2011
身のまわりのものをつかった実験が、たくさんのっています。その中から、見えない音をたしかめる方法（ほうほう）や、人間の耳のしくみをしようかいしました。			
打楽器のはなし 続	ジョセフィーヌ・パーカー著、ひのまどか、木村瞳訳	リブリオ出版	1993
人間は声を出して歌うこともできますが、楽器を使って音を出すこともできます。中でも、太鼓（たいこ）はもっとも古くから使われてきた楽器だという説明（せつめい）がのっています。			
どうぶつなんでも世界一	アネット・ティゾン、タラス・テイラー [著]、佐藤見果夢やく	評論社	1986
耳の大きい動物（ゾウ）や、耳の長い動物（ウサギ）についてしようかいしました。			

<もっといろいろ調べてみたい人へ>

【音と楽器についての本】

タイトル	著者	出版者	出版年
オーケストラ・吹奏楽が楽しくわかる楽器の図鑑 1～5	佐伯茂樹著	小峰書店	2011
風の音:管楽器のしくみ 楽器のかがかく	繁下和雄文、武藤光子絵	岩崎書店	1988
たしかめてみよう（福音館の科学シリーズ;36）	ローズ・ワイラー、ジェラルド・エイムズ文、吉村証子やく、タルバルジス・スチュービスえ	福音館書店	1969

【耳の本】

タイトル	著者	出版者	出版年
聞いたり、かいたり:耳と鼻（からだを知る本;8）	遠藤朝彦著、貝原浩絵	草土文化	1991
動物、つもの～しっぽカタログ:すがた、かたちを見る動物園	加藤由子文、大高成元写真	クロスロード	1990
どうぶつの耳	わしおとしこ構成・文	アリス館	1995

※大人の方へ：このリストは、「科学あそび2013 見えない音をたしかめよう～音の実験～」で行ったブックトークや、配布したブックリストを基にしています。テーマに沿った資料を網羅的に紹介したり、リストに挙げられた資料を推薦したりするものではありません。